

# コンテンツ制作力の強化

平成27年11月17日

文化庁芸術文化課

## <事業内容>

一線級の監督の下、若手アニメーターを起用した制作スタッフによるオリジナルアニメーション作品の制作を通じ、オン・ザ・ジョブ・トレーニングを組み込んだ制作現場における若手アニメーター等の育成を支援する。また、制作された作品は上映会等を実施し、発表機会を提供する。

## <対象とする主な若手アニメーター>

動画職を含むアニメーター経験が1年以上で、原画職経験が3ヶ月以上、3年以下で、30歳以下のアニメーター。

## ①施策の実施状況

平成27年度：委託（作品制作）団体

株式会社シグナル・エムディ『カラフル忍者いろまき（仮）』

株式会社スタジオよんどう『UTOPA（仮）』

有限会社手塚プロダクション『かっちねえ！（仮）』

株式会社武右工門 『風の又三郎（仮）』

平成27年度作品キービジュアル



過去の育成対象人数・受託製作会社数

平成25年度 26名 4団体

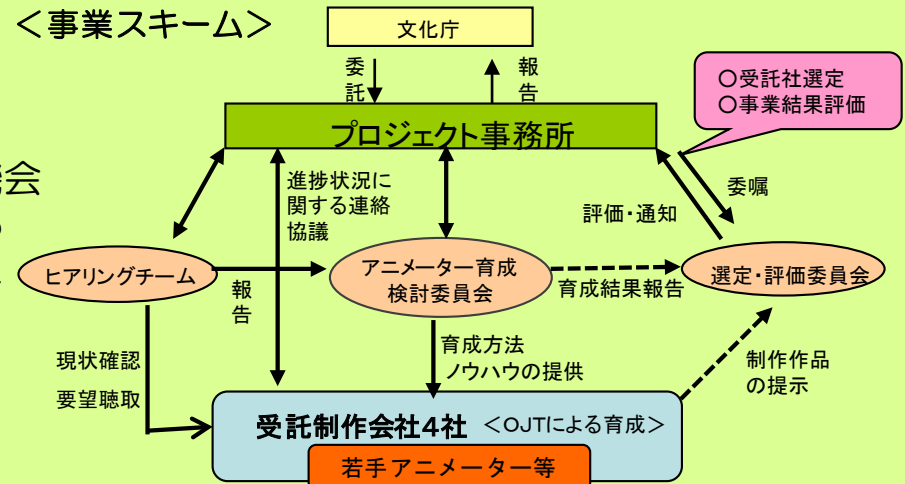
平成26年度 25名 4団体

平成27年度 27名 4団体

## ②今後の展望

今後も引き続き、本事業を実施することにより、制作発表機会の充実及びアニメ業界によるアニメーターの育成方法に関する新たな知見の獲得と方法論の確立を目指すとともに、得られた成果を業界全体へ普及・活用等を行うことを目標に、若手アニメーターの人材育成を図る。

## <事業スキーム>



## 文化庁メディア芸術祭

### 【趣旨】

優れたメディア芸術作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバル

### 【内容】

- アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門で優れた作品を公募
- 審査委員会による審査を経て、各部門大賞1作品、優秀賞4作品、新人賞3作品及び審査委員会推薦作品を選定
- 受賞作品の展示・上映、パフォーマンス、シンポジウム、ワークショップ等を実施

### 【平成27年度【第19回】実績】

応募作品数：4,417品（うち海外からの応募：86カ国・地域から2,216作品）  
来場者数：51,153人（平成26年度）



第18回文化庁メディア芸術祭受賞作品展

## 地方展

### 【趣旨・内容】

地方におけるメディア芸術作品の鑑賞機会を提供するため、メディア芸術祭受賞作品を中心に総合的な展示・上映等を行う展覧会を開催する。

（平成26年度：十勝帯広、松山、秋田）



平成26年度地方展（十勝帯広）



平成26年度海外メディア芸術祭等参加事業  
（ルッカ/イタリア）

## 海外メディア芸術祭等参加事業

### 【趣旨】

優れたメディア作品を海外のメディア芸術関連フェスティバル等で展示・上映等を行うことにより、我が国のメディア芸術の国際的な評価を高め、国内における創造活動の活性化を図る。

### 【内容】

- ①重点参加フェスティバル：日本のメディア芸術の評価を高めるため重点的に参加すべきフェスティバルについては、キュレーターを立て訴求力のある展示内容を組立  
（平成26年度）  
ファイル（ブラジル）、ルッカ・コミックス・アンド・ゲームズ（イタリア）、スラサール・スナリヨ・アート・スペース（インドネシア）等
- ②普通参加フェスティバル：専門家の助言を得ながら展示・上映等を実施

## 今後の展望

今後も引き続き、優れたメディア芸術作品を顕彰する文化庁メディア芸術祭を実施し、応募・入賞を目指す国内外のクリエイターによる創作活動の活性化を図る。また、受賞作品展の開催に加えて、地方展や海外展を実施することにより、クリエイターの作品発表機会を提供するとともに、我が国の優れた作品の発信と地域におけるメディア芸術の振興を図る。